

平成 30 年度厚生労働科学研究費補助金
(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業))
「健やかな親子関係を確立するためのプログラムの開発と有効性の評価に関する研究」

分担研究年度終了報告書

「子どもを健やかに育むために～愛の鞭ゼロ作戦～」
に関する妊娠中啓発の効果に関する検討

研究分担者 鈴木 俊治 葛飾赤十字産院産婦人科

【研究要旨】

仮に「しつけ」として体罰・暴言を行っている場合でも、子どもが健全に暮らしていく権利を損なう場合は「虐待」(maltreatment)となる。今回、妊娠中から maltreatment について啓発することの効果、前方視的に検討した。葛飾赤十字産院で妊婦健診・分娩管理される単胎妊婦を対象として、妊娠中期に健やか親子 21『子どもを健やかに育むために～愛の鞭ゼロ作戦～』のリーフレットを、該当妊婦に隔週で手渡した。産後 1 カ月の産婦健診において、「赤ちゃんへの気持ち質問票」を用いて、リーフレットを渡された産婦と渡されなかった産婦の間で、児へのボンディングの状況を比較した。結果として、両群間に「赤ちゃんへの気持ち質問票」結果の有意差は認められず、妊娠中期の maltreatment に関する啓発は、産後 1 カ月の児へのボンディングの状況に効果は証明できなかった。

A. 研究目的

仮に「しつけ」として体罰・暴言を行っている場合でも、子どもが健全に暮らしていく権利を損なう場合は「虐待 (maltreatment)」となり、近年の研究においては子どもの脳の発達に深刻な影響を及ぼすことが指摘されている。

子育てに関する理想と現実のギャップは出産後に発生することが主であると考えられるが、近年「特定妊婦」という概念が行政的にも定義され、妊娠前～妊娠中の社会的・精神的背景が子どもの虐待の要因のひとつになることも云われている。

今回、妊娠中から maltreatment について啓発することの効果、前方視的に検討した。

B. 研究方法

葛飾赤十字産院で妊婦健診～分娩管理される単胎妊婦を対象とした。平成 28 年 11

月～平成 30 年 3 月の間に、妊娠中期(妊娠 20～24 週)の妊婦健診時の保健相談において、担当助産師が、健やか親子 21『子どもを健やかに育むために～愛の鞭ゼロ作戦～』のリーフレットを、「育児においてたいせつなこと」という言葉をかけながら、隔週で、対象妊婦に直接手渡した(図 1)。

産後 1 カ月の産婦健診において、「赤ちゃんへの気持ち質問票」を用いて、リーフレットを渡された産婦(334 人)と渡されなかった産婦(320 人)の間で、児へのボンディングの状況を比較した。背景因子として、年齢、流産・経産回数、不妊治療の有無、妊産婦支援チェックリスト(葛飾赤十字産院)の因子、DV スコア、妊娠初期の 2 質問票の結果、両親学級受講の有無、産科合併症、分娩様式、出生児所見を検討した。

統計はカイ 2 乗検定を用い、 $P < 0.05$ を有意とした。

(倫理面への配慮)

本研究は、葛飾赤十字産院倫理委員会の審査を受け、対象者の同意を得て実施し、個人情報を持定できない様式で統計処理を行った。

C. 研究結果

リーフレットを渡された群と渡されなかった群の間で、背景因子に有意差を認めなかった。

両群の児へのボンディングの状況を表1のように比較したが、両群間における有意差は認められなかった。

D. 考察

児へのボンディングの状況が必ずしも maltreatment と相関するわけではないが、今回の検討において、妊娠中期に渡された健やか親子 21『子どもを健やかに育むために～愛の鞭ゼロ作戦～』のリーフレットは、産後1カ月の児へのボンディングの状況に影響を及ぼさなかった。

今回の検討は、児への maltreatment に関して妊娠中からの啓発の効果をみた最初の

検討となり、本結果のみでは、妊娠中からの啓発については効果がないという結論になるが、リーフレットを渡す時期やボンディングを評価する時期、また、ボンディングの状況が maltreatment に一致するわけでないこと等、研究方法に関する limitation 等が存在することは否定できない。

実際に maltreatment による問題が生じるのは乳児期以降が多いことから、評価の時期等を再検討する余地はあるが、現時点においては、妊娠期は虐待についての情報提供の時期として効果がない可能性が示唆された。

E. 結論

妊娠中期に渡された健やか親子 21『子どもを健やかに育むために～愛の鞭ゼロ作戦～』のリーフレットは、産後1カ月の母親のボンディングの状況に効果を認めなかった。

図 1. 検討デザイン

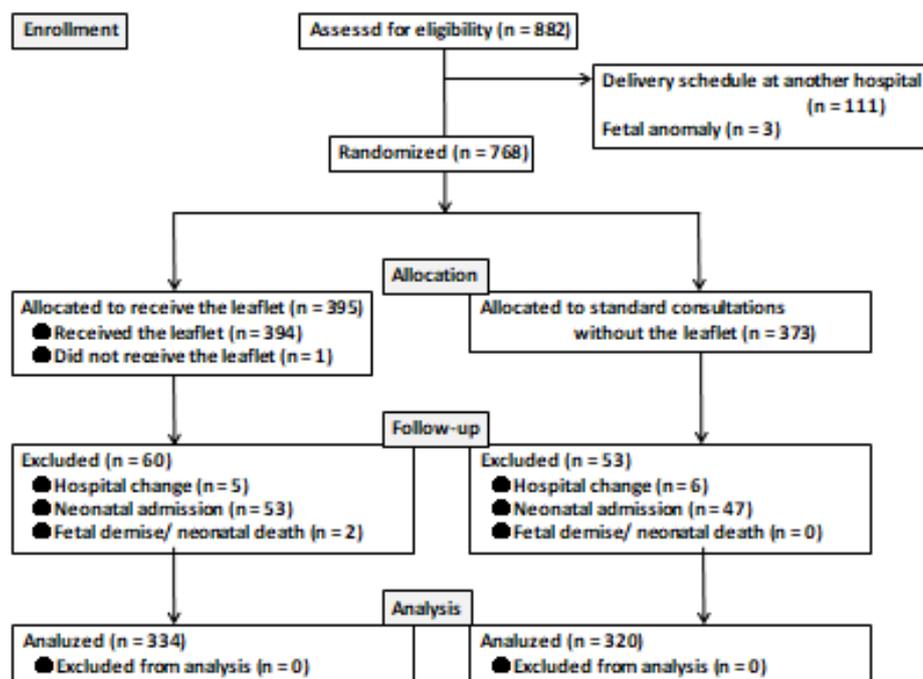


表 1. 妊娠中期に健やか親子 21『子どもを健やかに育むために～愛の鞭ゼロ作戦～』のリーフレットが渡された産婦と渡されなかった産婦の産後 1 カ月健診における「赤ちゃんへの気持ち質問票」を用いた児へのボンディングの状況の比較.

	リーフレット あり	リーフレット なし	P-value	Odds 比	95% CI
総数	334	320			
問題なし	275 (82%)	271 (85%)	Ref.	1	
問題ありの可能性あり					
総数	59 (18%)	49 (15%)	0.46	1.19	0.79-1.8
3 点以上	53 (16%)	45 (14%)	0.51	1.16	0.76-1.8
質問 3 に点数あり	22 (7%)	17 (5%)	0.51	1.26	0.67-2.4
質問 5 に点数あり	16 (5%)	12 (4%)	0.56	1.31	0.62-2.8

CI, confidence interval.

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

英文

- ① Shibata Y, Suzuki S: Comparison of the Edinburgh Postnatal Depression Scale and the Whooley questions in screening for postpartum depression in Japan. J Matern Fetal Neonatal Med. 2018

和文

- ① 鈴木俊治：周産期メンタルヘルス診療指針 2017. 日産婦誌 2018; 70: 247-249
- ② 鈴木 俊治：【周産期メンタルヘルスリテラシーの向上を目指して】平成 28 年度診療報酬改定における精神疾患合併妊娠の管理加算について. 日本周産期メンタルヘルス学会会誌 2018; 4: 17-20

2. 学会発表

国内学会

- ① 講演：鈴木俊治：周産期メンタルヘルス診療指針 2017. 第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会（2018 年 5 月）

国際学会

- ① シンポジウム：Suzuki S: Comparison of the Edinburgh Postnatal Depression Scale (EPDS) and the Whooley questions in screening for postpartum depression in Japan. The International Marce Society Binnial Scientific Meeting 2018（2018 年マルセ国際周産期メンタルヘルス学会）（2018 年 9 月）

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得：なし
2. 実用新案登録：なし
3. その他：なし